

令和3年度学校経営方針

福岡県立三池工業高等学校長

1 学校経営方針

「ものづくり」とおして地域や社会の健全で持続的な発展を担う“工業人”の育成を図る！

本校は本年度で創立113年を迎える工業の専門高校である。
工業の専門高校として

「地域とともにある学校」～地域の未来を支える工業人の育成をめざして～

地域や社会の次世代リーダーとして活躍できる人材を育成するために、校訓である「個性尊重」「自覚努力」「自学自習」「創作工夫」「知恩感謝」の精神を活かしつつ、「ものづくり」とおして地域や社会の持続的な発展を担う工業人の育成を図る。

具体的な目標・方策を以下に述べる。

2 具体的目標

(1) キャリア教育の充実

「生徒一人ひとりの多様な進路実現」に向けたカリキュラムの展開を行い、就職だけでなく公務員や大学進学等への進路指導体制の充実を図る。多様な生徒の可能性を伸ばす指導を充実させることで、生徒一人ひとりの多様な進路に応じた教育を行う。また、大学等との接続についても対応を行う。

(2) ものづくりや知財教育を中心とした「三エブランド化」の推進

課題研究や実習を中心とした「ものづくり」や知財教育をとおした地域貢献を推進するとともに、「三工ならではの」活動を行う。地域や社会の健全で持続的な発展を担う人材を育成するため、ボランティア活動、ユネスコスクール活動等を充実し、促進する。

(3) 授業規律の確立と授業技術を高め、「人を育てる授業」を展開する

「鍛ほめ福岡メソッド」の実践を推進し、「主体的・対話的で深い学び」に向けた「アクティブラーニング」を行い、探求心の向上を行う。

最先端科学技術の進展・グローバル化・産業構造変化等にともない、必要とされる専門知識・技術も変化及び高度化しているため、教師自らが自己研鑽に励み、ICTを用いた授業づくり、実践学習を通じた学習意欲の向上と維持に努める。そのためには、専門的な技術および知識の定着を行い、多様な課題に対応できる課題解決能力を育成することが重要であり、「課題研究」等の自主的な学習活動をより一層充実させる。

(4) ICTを活用した新たな学習スタイルの確立を図る

令和3年度中にも校内のWi-Fi環境整備が整う予定である。生徒1人1台端末環境を整えるには時間を要することから、生徒自身が普段使い慣れている生徒所有のスマートフォンやタブレットなどを学習に活用する、いわゆるBYOD方式により1人1台端末環境を構築する。生徒一人一人の資質・能力を一層確実に育成する教育活動が実現できるような学習スタイルの確立を図る。

(5) 修学支援を迅速に進める

転退学を防ぐために「チーム三工」として関係機関と連携し、遅刻や欠席を繰り返す生徒の適切な指導法を協議するとともに、生徒情報を職員会議で適宜報告し組織的対応につなげる。

また、担任は学期初めの二者面談や学期終わりの三者面談をとおして生徒理解に努め、生徒の心の変化を見逃さない。なお、「知恩感謝」の念を持ち、いじめや暴力のない安心安全な学校づくりに努める。

(6) 組織的な道德教育の展開

道徳的実践力を高めるため、人としての在り方・生き方を身につける道德教育を展開する。

「凡事徹底」を図り、当たり前のことを当たり前にやるのではなく、当たり前のことを人には真似できないほど一生懸命やる態度を涵養する。